

希望ある未来に向かって

私たちが目指す未来は、市民の皆様が「これからも、ずっと住み続けたい」と実感できる香南市です。そして、進学や就職で一度市外に出られた方々が、故郷を思い出し「やっぱり香南市がえい！」と誇りを持って帰ってきでくれることです。

この希望ある未来を実現するためには、市全体が一丸となって取り組んでいく必要があります。

私たちが「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（香南市未来戦略）」で掲げる3つの基本目標は、香南市の未来を支える3つの柱です。

1つ目の柱は「やっぱり香南市がえい」と思えるまちづくりの推進です。これは、市民一人ひとりの安心の基盤です。子ども、高齢者、障害のある方、外国籍の方など、すべての人がそれぞれの地域で生きがいや役割を見つけられるよう、お互いの価値観を尊重し、支え合える社会を築きます。また、地震や災害に強いまち、すなわち、災害時に「自分の命は自分で守る（自助）」「近所や地域で助け合う（共助）」「自助や共助ではカバーしきれない部分を市役所が補完する（公助）」を基本としたまちづくりを推進します。さらに、市外・県外からの移住者を増やすとともに、若い人たちが「香南市で暮らしたい」と思えるような、力強い移住定住への支援体制を作り出します。

次に、2つ目の柱は「こどもまんなか香南市の実現」です。若い世代が安心して結婚、妊娠、出産、子育てができる環境を整えることは、まちの活力の源です。妊娠前から子育てが終わるまで、ライフステージに合わせた切れ目ないサポートを続け、食や健康を通して健やかに成長できる取り組みを進めて地域全体で子どもを見守ります。助け合える環境を整えることで、「子育て＝香南市」というブランドを確立し、若者や子育て世代から選ばれるまちを目指します。

そして、3つ目の柱は「魅力ある産業の活性化と新たなチャレンジへの支援を推進」です。地域で働くことに誇りを持ち、将来の生活に希望が持てるように、安定した雇用と所得の向上を目指します。香南市が持つ農業、漁業、商業、観光業の力をさらに伸ばすとともに、新しい産業や企業の誘致にも力を入れ、安定した働く場を作ります。地域の資源を生かしながら、若い人々の挑戦を全力で応援し、まち全体に活力をみなぎらせます。

これらの柱を中心に据え、私たちは未来に向けた希望を胸に、市民の皆様と手を取り合いながら、次世代、またその次の世代へと、笑顔と活力が絶えない香南市を繋いでいくよう取り組んでいきます。

